

串間温泉いこいの里

〒888-0008 串間市大字本城987 TEL 0987-75-2000 FAX 0987-75-2280
■営業時間：午前10時～午後10時 ■定休日：毎月第3水曜日

イベントのお知らせ

串間市に新名所「バラ園」誕生！

400本のバラがお客さまをお迎えします。6月初旬まで豪華な装いをご覧ください。

串間の夏の風物詩 観光「トビウオすくい」申込受付中！

- ◎期間＝6月1日～9月30日
- ◎時間＝午後7時半～9時（予定）
- ◎料金＝10,000円（1隻チャーター、5人まで乗船できます）
- ※先着400人は乗船料金の半額が補助されるモニター事業があります。詳しくはお問い合わせください。
- 「トビウオすくい宿泊プラン」
- ◎料金＝平日9,150円から（5人宿泊のときのお1人の金額です）
- ※ご利用の人数で変わります。
- 太平洋の金魚すくいをぜひ体験してみてください。

指定管理2周年記念 パスポート3カ月券・半年券・回数券キャンペーン

- ◎キャンペーン開始日＝6月1日
- ※数に限りがあります。なくなり次第終了です。
- ◎チケット料金
- リフレ館（大浴場）
 - ・半年券＝45,000円（通常価格＝48,000円）
 - ・3カ月券＝30,000円（新設）
 - ・回数券（12回分）＝5,000円（通常価格＝5,500円）
- 湯ったり館（露天風呂）
 - ・半年券＝26,000円（新設）
 - ・3カ月券＝18,000円（新設）
 - ・回数券（11回分）＝2,700円（通常価格＝3,000円）
- ※さらに購入者を対象に抽選会を開催！お食事券（3,000円）が当たるかも！

FROM EDITOR'S

今年例年より早く梅雨入りしたとのこと。県内各地の水不足も少しは回復するだろうか。本県では昨年から口蹄疫、鳥インフルなどが続いていたが、よもや「恵みの雨」から「食中毒」などが発生することには十分注意したい（ト）

湿度の多い季節になりました。わが家は湿度がたまりやすいため、家に帰ると玄関を開けた瞬間、湿度の塊がもわっとやってきます。この状況でなんとトイレの水漏れが発生。なんとかカビが発生しないよう対策を考え中です（ナ）

5月から広報担当になりました。○年ぶりの広報です。ひとたびに取材にでかければ、お世話になったかと再会の嵐。長い不在を感じさせない変わらぬ笑顔がうれしかった。初心に帰って頑張ります。よろしく願います（サ）

PRESENTS



お便りをくださった方から抽選で、「釜めし」と「豆乳鍋」セットのお食事券を10名様にプレゼント。
応募締切は6月30日(木)当日消印有効です。

串間市役所総合政策課 情報政策係 行

(No.888/2011.6)



お手数ですが50円切手をお貼りください

◎ご氏名
フリガナ

年齢 / 歳 性別 / 男・女

◎ペンネームまたはイニシャル

※記入がない場合、実名で記載させていただきます。

◎ご住所

電話 () -

◎抽選で10名様にプレゼント致します。
串間温泉いこいの里 お食事券

わたしは今年教員生活31年目を迎えました。福島小を皮切りに大束小、都井小、北方小で21年、都城の梅北小を経て現在有明小勤務です。教員生活の大半を串間の子どもたちと過ごし、わたし自身、串間に育ててもらいました。教員生活はきつと「厳しい先生」と声をそろえて言うことでしょうか（笑）。

一年前の今ごろ、宮崎は口蹄疫の問題で大きく揺れましたが、子どもたちも人ごとではありませんでした。行事の中止・延期、募金活動など、普段と違う毎日が続きました。ニュースも慌ただしく流れる中、一枚の写真を見つけました。それは出産間近の母牛を殺処分するためにワクチンを接種する無情な光景の写真でした。その記事にはその関係者の苦痛と悲しみの心情が書かれていました。胸が締め付けられる思いでした。教師としてできることは何か。それはこの宮崎で起きたことを他人事とせず、子どもたちに伝え風化させないことと考えました。そして子どもたちが関係者の深い悲しみやつらい思いに触れたとき何を思うだろう。この機会に子どもたちが出来事に気付く、相手の気持ちを想像し自分に何ができるかを考え、勇気を出して行動できるようにしたら素晴らしいと思えました。そこで新聞を教材化した一年生の道徳「悲しんでいる人を見かけたら」というテーマで授業をしました。子どもたちは写真に目を見張り、「かわいそうに。元気出してね」「頑張つて。応援するよ」「一人ひとり、その子なりに事態を真剣に受け止め、考え、思いを持ちま

強くやさしくたくましく すくすく伸びる串間っ子

随想 ◎内田 京子

た。そして悲しんでいる人たちに寄り添う気持ちを持ち、自分に何ができるのだろうか、優しく接したい、という思いやりの気持ちを持つことができました。「道徳の時間は心の勉強」と子どもたちに伝えたい。人はだれでも強い心と弱い心を持っています。だけれども善悪の判断はできませんが行動はなかなかできません。考えることも行動もまだ未熟な子どもたちです。未熟なことは悪いことではありません。未熟だからこそ間違えます。間違いを怖がらず、間違ったらやり直すことを学んでいけばよいのです。お母さん方にこうお話しします。「問題が起ることを恐れることより、問題に直面したときがわが子の成長と受け止め厳しくも温かく支えていきましよう」人の痛みを知り、本当の強さや優しさを身に付けていってほしいと思います。今年東北震災という未曾有の苦難を強いられた日本です。人の数だけさまざまな苦しみやドラマがあることでしょうか。その中で、テレビで見る被災地の子どものたちの笑顔に希望を感じるのわただけではないでしょうか。めまぐるしく変化する社会の中でたくましく優しく生きる力を持つ子どもたちの成長を願いつつ日々子どもたちと共に学ぶ毎日ですが、有明小からはこんな声が聞こえます。「京子先生、こえ〜」



▲1年生道徳「かなしんでいる人がいたら」の授業風景



Profile

1945年生まれ（66歳）／串間市仲町在住。宮崎市出身。昭和56年宮崎大学卒業。その後小学校教諭として30年勤務。本年度より指導教諭として有明小勤務5年目となる。これから子どもたちの心に寄り添いながら成長を支えていきたいと思う。